

# 福岡県の冬春ナスと

## L P コ ー ト (くみあい被覆尿素)

福岡県三井農業改良普及所  
(前 朝倉 農業 改良 普及 所)

### 神 崎 光 成

#### はじめに

福岡県における冬春ナス栽培は、昭和30年代のトンネル早熟栽培にはじまり、昭和40年代初期はハウス栽培となり、3月下旬から出荷が行われた。その後、長ナスの導入、栽培ハウスの大型化・前進化により、2月中旬から出荷されるようになった。昭和46年、加温機の導入により出荷時期が早まり、12月下旬からの出荷体制が確立された。

その後さらに作型は前進化し、11月上旬から6月下旬までの長期穫りが主流となる。現在、福岡県下で約180haの栽培がおこなわれている。

今回のLPコート肥料展示を実施したところは、福岡県甘木市である。県のほぼ中央部に位置し、筑後川の中流域に属する。甘木市における冬春ナスの生産は、昭和40年代初期にはじまり、現在にいたっている。栽培面積約10ha、30数戸の農家で栽培されている。当地域は県内では寒い地域であり、冬場の日照も少ないなかであるが、意欲的に栽培がおこなわれている。

作型は第1図のとうり、3つの作型がある。9月まぎの遅い作型には、抑制キュウリが導入しており、ハウスの有効利用、所得の向上がはかられている。

今回の展示肥料、LPコート(くみあい被覆尿素入り複合444-D100)については、促成ナスの、本田初期に

おける樹勢のコントロールを目的として行なった。

#### (展示ほ内容)

実施期間 昭和56年～58年(57年産～59年産)

展示場所 福岡県甘木市三奈木

西 靖道氏ほ場

展示面積 330㎡(100坪)

施設設備等 5.4m間口ビニールパイプハウス3連棟、  
2層カーテン(開閉式)  
温風暖房、チューブ灌水

土壌条件 壤土

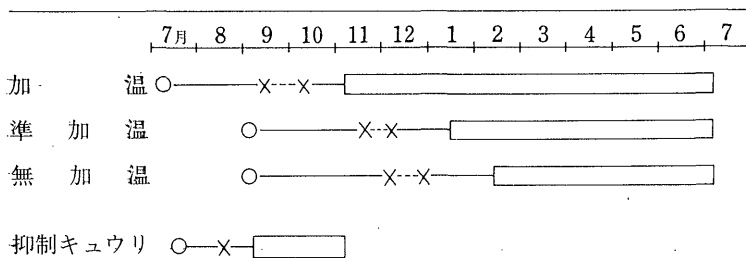
耕種概要等 品種：黒陽、は種：7月上旬(共同育苗)、定植：9月中旬～10月上旬、うね幅：1.8m、株間：0.75m、1条植え、栽植本数：720本/10a、整枝・せん定：4本仕立て、側枝切り返し法、ホルモン処理：トマトトーン単花処理

施肥設計 第1表のとうりである。この施肥設計は初年度計画であり、慣行における基肥のチッソ成分について、LPコートに置きかえることとした。実際には、初年度LPコート100kg/330㎡となった。

調査 生育調査および収量調査を実施した。ただし、収量調査は3年次のみとした。(今回の報告では、調査中のため省く)

生育調査のなかで、最大葉長を除いた他の項目は、1株中で、最大に伸びた枝について調査した。

第1図 甘木市における促成ナス作型



凡例：○は種 ×定植 □収穫

#### 結果および考察

当初LPコート(D100)の施用量は、67kg/330㎡で計画していたが、農家との打合せの不備により追肥分の40kg/330㎡まで基肥に施用し、100kg/330㎡となった。このため、樹勢が

極端に強くなり、石ナスの発生が心配された。

1年目の生育は、対照区にくらべ、LPコート区が各調査項目共に高い値を示した(第2表)。

また、第1回調査1カ月後の調査においても、同様の結果が得られた(第3表)。達観調査では、通常の生育にくらべるとやや過繁茂であり、生育初期に部分的に石

330㎡と、1年目の施用量100kg/330㎡に対する生育を、農家と検討のうえ、80kg/330㎡を施用することにした。

2年目の生育は、1年目と同様に、対照区にくらべLPコート区が、各調査区共に高い値を示した(第4表)。しかし、達観調査では1年目と異り、初期生育から落つき順調で、石ナスの発生はほとんどみられなかった。ただし、1年目と2年目は、定植の時期が1年目の10月上旬に対し、約2旬程早く行なわれている。

2年目の結果として、初期より望ましい生育をしており、80kg/330㎡という量は、妥当な所ではないかと考えられる。

なお、1年目、2年目の収量については、調査を実施していないが、農家の話では、ほとんど変わらないということであった。

3年目については、以上の結果をふまえて、80kg/330㎡により実施中である。

当地域の冬春ナス栽培において、LPコートを使用する場合、土耕の基本である『土』を十分に理解し、深耕、排水、土壌改良、有機物の投入等の『土づくり』を十分に行うことが必要である。LPコート(444-D100)の施用量については、10a当り240kg<sub>程</sub>程度が妥当と考えられる。

第1表 施肥設計 (330㎡当り)

| 肥料名          | LPコート区 |    | 対照区  |    |
|--------------|--------|----|------|----|
|              | 基肥     | 追肥 | 基肥   | 追肥 |
| 炭カ           | 40kg   | kg | 40kg | kg |
| ヨウリン         | 20     |    | 20   |    |
| 有機園芸654      |        |    | 60   |    |
| 油粕           |        |    | 60   |    |
| ハウス2号(6-7-4) |        |    | 40   | 20 |
| LPコート        | 67     | 40 |      |    |
| 尿硫48号        |        |    |      | 20 |
| 液肥(11-3-9)   |        |    |      | 12 |

成分量 N:P:K LPコート区 対照区

第2表 生育調査(1年次)

|        | 草丈     | 節数      | 着果数    | 最大葉長   |
|--------|--------|---------|--------|--------|
| LPコート区 | 65.6cm | 15.0節/枝 | 0.5本/枝 | 21.0cm |
| 対照区    | 58.8cm | 14.2節/枝 | 0.3本/枝 | 19.4cm |

(10株平均) (調査:S.56.11.10)

第3表 生育調査(1年次)

|        | 草丈     | 節数      | 着果数    | 最大葉長   |
|--------|--------|---------|--------|--------|
| LPコート区 | 92.1cm | 18.9節/枝 | 1.2本/枝 | 25.8cm |
| 対照区    | 83.6cm | 17.9節/枝 | 0.5本/枝 | 25.8cm |

(10株平均) (調査:S.56.12.8)

第4表 生育調査(2年次)

|        | 草丈     | 節数      | 着果数    | 最大葉長   |
|--------|--------|---------|--------|--------|
| LPコート区 | 93.1cm | 21.0節/枝 | 4.7本/枝 | 23.5cm |
| 対照区    | 84.0cm | 19.9節/枝 | 3.9本/枝 | 20.7cm |

(10株平均) (調査:S57.12.2)

ナスの発生がみられた。このため、摘葉をやや強めに行い、樹勢の低下にところがけた。

その後の生育は、落ちついた順調な生育となった。

1年目の結果として、計画通りの実施ができなかったものの、まづまづの成績が得られた。

2年目のLPコートの施用量は、当初の計画量67kg/

### (おわりに)

展示農家の西氏は、LPコートを夏秋ナスにも使用してみており、樹勢コントロールがやり易いと、LPコート使用に意欲的である。

また、今回の展示をみた甘木市冬春ナス部会員のなかにも、使用してみたいとの動きが、出てきているようである。

**あとがき** 長期予報によると今年は梅雨あけ

後も天候の異常が懸念され、米をはじめ各種農作物の作柄が心配されたものでしたが全国的に梅雨が明けてみると、あにはからんや、予想とは打って変わった猛暑の毎日。お蔭で今年は5年振りに豊作に恵まれそうだとのこと。たまには、こんな気分でテクリとやりたいもんですね。

(K生)

**9月号は休刊** 編集上の都合で、本誌9月号は

休刊とし、10月1日付を以て、

「チョッ旭肥料(株)創立15周年記念特集号」を発行致します。(ご諒承下さい)